

パワーハラスメント(パワハラ)・セクシャルハラスメント(セクハラ)防止のために

朝霞ラブオール

一般に、職場や学校などの階級差や地位の違い、指導する側とされる側などの立場の違いや上下関係があるところでは、その地位や立場・権限を利用しての仕事や生活面での嫌がらせ、強要（昇進や単位、レギュラー入り等を人質にとったり、上に立つものが絶対だ等とするパワーハラスメント）、と性的言動や関係を迫るなどのセクシャルハラスメント（ここまでを対価型パワハラや対価型セクハラという）がおこったり、あるいは環境型のセクシャルハラスメント（性的嫌がらせ。不快感を起こすものの掲示。性的冗談。容姿、身体等についての会話。恋愛経験や結婚・出産などを頻繁に執拗に尋ねる。男性に「男のくせに根性がない」と言う事も含む）がおこりえます。強要や中傷、周囲の同調などにより、被害者がPTSDや精神障害、悪くなると被害者の人間不信による人間関係の破綻や生活の破綻にも発展してしまいます。

卓球クラブなど同じ嗜好の人達の集まりでは、職場での立場の違いを乗り越えて対等な良き関係を築くことも多くあつたりしますが、大きな組織になり上下関係も出来てくるとパワハラにならないように気をつけることも必要です。セクハラに関しては、特に環境型のセクハラにならないように気をつけることが必要でしょう。

当クラブのパワハラ防止・セクハラ防止の考え方は、卓球においてはお互い相手がいて練習や試合ができることに感謝して切磋琢磨しつつ、老若男女が仲良く健康的で、地域での人としての絆や豊かな人間関係を築いてゆくためのモラルとして、またクラブの当面の目標である男女均等の会員人数構成にすることを達成してゆくための行動基準とします。

- ① 相手（男女を問わず）が不快に感じる性的言動をとらない。「いやらしいことを言ったけど黙って聞いていた。」だから『相手に不快感を与えていない』ということにはならないことを肝に銘じましょう。受ける側の女性（あるいは男性）も、集団においても個人的ででも、『不快だ』と感じたら、「不快です」「それはセクハラです」と直接言うようにしましょう。
- ② セクハラと感じたら、迷わず早めに同性に話し、その言動が許せない範囲と感じたら早めに役員のメンバーに報告しましょう。
- ③ パワハラあるいはセクハラと役員会の中で認定されると、一定の活動制限を言い渡すこともあり得ます。最悪除籍までの可能性があります。
- ④ 相手に不快感をもたれないように、フレンドリーに接し、気を配ってコミュニケーションをはかりましょう。仲良くすることは大切です。